

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 62
ID 143003

【施設状況】

グループ名称	飯綱高原観光施設（飯綱高原運動広場6、飯綱高原屋外市民ホール、小天狗の森フィールドアスレチック、飯綱高原キャンプ場、大座法師池ボート場、飯綱高原観光駐車場5、飯綱高原スキー場）								
指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社				法人番号	9100005000010			
所管課	主	143000	観光振興課	副					
構成施設	2206	飯綱高原スキー場			大座法師池ボート場				
	5455	飯綱高原キャンプ場			飯綱高原観光駐車場5				
	2111	飯綱高原屋外市民ホール							
	2111	飯綱高原運動広場6							
	5455	小天狗の森フィールドアスレチック							
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	飯綱高原スキー場（昭和40年開設）、ハイランドホール飯綱（平成元年開設）、飯綱高原小天狗の森（昭和53年開設）・飯綱高原キャンプ場（昭和31年開設）・飯綱高原ボート場（昭和41年開設）、飯綱高原運動広場<中央グラウンド、南グラウンド（昭和60年開設）、東第一・第二グラウンド（平成4年開設）、東第三グラウンド（平成6年開設）、第一テニスコート（昭和57年開設）、第二テニスコート（平成4年開設）、第三テニスコート（昭和60年開設）>								
施設設置目的	市民、観光客の文化活動及びレクリエーション活動等の増進に資するため、飯綱高原観光施設（スキー場、市民ホール、フィールドアスレチック、キャンプ場、ボート場、運動広場、駐車場）を設置する。								
基本方針等	指定管理者は、飯綱高原観光施設を有効に活用することで、「日帰り型高原リゾートサービスの提供」「通年観光ゾーンの形成」を図る。また、地域の宿泊施設などと連携し、「長期滞在型高原リゾートサービスの提供」を行い、きめ細やかなサービスを提供することで飯綱高原ファンを増やし、飯綱高原にお越しいただいたお客様の満足度を高めるよう努めるものとする。								
主な実施事業	飯綱高原スキー場（リフト：5基・コース：10コース） ハイランドホール飯綱（ステージ等）、飯綱高原小天狗の森（遊具31ポイント）、飯綱高原キャンプ場（ログキャビン等）飯綱高原ボート場（普通ボート等）、飯綱高原運動広場（グラウンド、テニスコート、高原の泉）								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社			指定回数	3 回				
指定期間	平成24年4月1日		～	平成29年3月31日		5年	管理運営開始日	平成18年4月1日	
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価	4
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	長野市開発公社は昭和41年社団法人(H25一般社団法人に移行)として地域の開発と資源の活用による地域福祉の向上を目的に設立された。現在も市内28施設を指定管理者として管理運営を行っており、決算も安定している。							

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
	スキー場利用者数	人	47,490	54,276	59,033	18,777	32%	
	キャンプ場利用者数	人	4,563	5,997	6,278	7,760	124%	
	ポート場利用者数	人	7,865	6,855	5,265	7,096	135%	
	ハイランドホール利用者数	人	3,117	1,872	1,987	2,182	110%	
	運動広場	人	5,340	4,729	3,780	4,022	106%	
	営業収入(指定管理料除く)	円	63,807,252	81,936,525	85,403,647	33,579,658	39%	
							#####	
(特記事項) H27 記録的な積雪不足によりスキー場の営業期間が大幅に短縮された (当初予定94日間《12/19~3/21》⇒ 41日間《1/19~2/28》)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場の管理運営 ・ハイランドホールの管理運営 ・キャンプ場・ポート場の管理運営 ・運動広場の管理運営 						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイランド食堂の運営 ・各種大会(市民スキー大会など)の開催 ・主催大会(タヤマカップなど)の開催 ・貸切ナイターイベントの開催 ・市民向け割引リフト券の販売 		<ul style="list-style-type: none"> ・オトナリサーキットの開設 ・BBQコンロ、イス等、レンタル品の充実 ・スキー場自主スクールの開催 ・バスバックリフト券の販売強化 ・レンタルスキー・ボード事業の販売強化 ・県短期大学との協働による販促企画イベント実施 ・50周年記念事業の実施 ・ホットワックスサービスの開催 				
サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにおいて、積雪・道路状況などの最新情報を毎日更新するとともに、フェイスブック・スタッフブログでは身近な話題やイベント情報を発信し、利用者が来やすく身近に感じられるような情報提供に努めた。 ・マスコットキャラクター「づなっち」を活用した道路看板設置やイベントの実施により、メインターゲットであるファミリー層へのアプローチを継続的な強化を図った。 							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	長野県短期大学の学生による利用者アンケートを実施する予定だったが、積雪不足により営業期間を短縮せざるをえなくなってしまう実施することができなかった。そのため、シーズン券購入者及び利用者との対面販売で得た要望を集約した。		
	(3) 調査、会議等の結果	今後の営業に生かすべく、聞き取りの内容を従業員の間で情報共有した。		
	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・例年にない深刻な雪不足に対して、多くの利用者から励ましのお言葉をいただいた。 ・県外在住で、づなっちとの触れ合いイベントを楽しんでいるファミリーからは、年末年始、冬休みに来場できなくて残念だったとの意見をいただいた。 ・毎年シーズン券を家族で購入している利用者の方から、飯綱高原でのスキーを楽しみにしており、他のスキー場には行かない、とのご意見をいただいた。 ・「づなっちに会いたい」と子供がオープンを心待ちにしていた、とのご意見をいただいた。 		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・オープン前にシーズン券を購入した方から、返金及び割引価格にならないかと要望があった。また、回数券についても同様の要望があった。 		
	《対応措置》	シーズン券の募集チラシに「積雪状況により安全の確保ができないとスキー場が判断した場合には、有効期限前に運休または閉鎖となる場合があります」、「いかなる理由においても本券の払い戻しはできません」という利用規定が記載されており、説明して納得していただいた。また、回数券購入者についても、同様に丁寧に説明した。 来シーズンからは、原則として、スキー場のオープンと同時にシーズン券を販売するよう変更して対応する。		

3

	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	68,292,000	利用料金	28,768,078	歳入	使用料	35,700	使用料	36,300
	指定管理料	119,746,000	指定管理料	128,658,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			その他		その他	
	その他収入		その他収入						
	計	188,038,000	計	157,426,078		計	35,700	計	36,300
事業収支 (単位：円)	人件費	80,157,000	人件費	62,661,186	指定管理料	128,616,514	指定管理料	119,242,600	
	設備管理費	9,383,000	設備管理費	13,284,162	委託料		委託料		
	備品購入費	7,767,000	備品購入費	7,402,926	需用費		需用費		
	修繕費	30,688,000	修繕費	26,426,674	役務費	69,717	役務費	66,483	
	光熱水費	19,072,000	光熱水費	12,827,063	使用料・賃借料	1,680,300	使用料・賃借料	1,680,300	
	事業費	23,148,000	事業費	24,368,658	修繕費		修繕費		
	事務経費		事務経費		工事請負費		工事請負費		
	本社経費	10,072,000	本社経費	8,971,179	備品購入費		備品購入費		
	その他	8,256,000	その他	5,791,743	その他		その他		
		計	188,543,000	計	161,733,591		計	130,366,531	計
自主事業	収入	8,053,000	収入	4,811,580					
	支出	6,751,000	支出	3,992,229					
	自主事業損益	1,302,000	自主事業損益	819,351					
損益		797,000		-3,488,162	差引	-130,330,831		-120,953,083	
人件費比率【人件費(賃金等)／平成27年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									38.7%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				夏期営業では目標を上回ったが、冬期のスキー場営業では積雪不足による外的要因により、営業期間短縮を余儀なくされたため。					

3

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが滞りなく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価		
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	4		
協定内容・指定管理者提案			追加された内容、未実施の内容及びその理由
<ul style="list-style-type: none"> 運動広場（グラウンド・テニスコート）管理を地元観光協会へ委託 高原の泉（トイレ）清掃管理を地元観光協会へ委託 スキー場運営協議会の開催（年2回実施） 飯綱高原を美しくする会の活動協力 地元総会及び関係会議への出席 			<ul style="list-style-type: none"> 飯綱火まつり開催のための支援、協力。 地域宿泊施設と連携した宿泊パック券の継続。 県短大との協働。イベント企画、販促品の開発、作成。 学校法人いづな学園こどもの森幼稚園園舎建て替えに伴うハイランドホール貸出協力。（6～12月） 飯綱高原観光協会主催のフリーマーケットへの協力。

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	4	8	合計得点 64	
施設の有効活用	3	12		
利用者評価	3	12		
事業収支	3	12		
管理運営全般	3	6		
危機管理体制	3	6		
地域連携	4	8		

評価理由

指定管理者は、当該施設以外にも複数の指定管理施設の運営を請け負っており、平成27年度決算においても総資産額22.7億円（うち流動資産合計14.3億円）、純資産額約15.1億円と安定した経営状況であるため、「指定管理者の健全性」は「4」とした。
 「地域連携」については、飯綱高原観光協会をはじめとする地域のイベントへの積極的な参加、協力があると認められることから「4」とした。
 なお、その他の事項については、概ね予定どおり実施されている。

取組み・改善案等
（施設所管課）

前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
<ul style="list-style-type: none"> 経費節減や収益事業に積極的に取り組む等により、事業収支の改善を図ること。 戸隠スキー場・戸隠キャンプ場との差別化を図ることで、効果的な誘客に努めるとともに効率的な管理運営を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンシーズンの収益は改善されたが、記録的な積雪不足による営業期間の縮小により、ウインターシーズンは大幅な収入不足に陥り、結果として3,500千円弱の損失を計上してしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> 飯綱高原スキー場は、常に営業期間が短縮されることと隣り合わせである。そのため、グリーンシーズンの活性化により、シーズンを通しての収益改善が求められる。

次年度の目標・取組み等
（施設所管課）

・（仮）飯綱高原観光施設活用検討会の設置を予定しており、今後のあり方等について検討していくが、一定の結論が出た場合、できることは可能な限り実現していくよう努めていく。

指定管理者自己評価

C

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

<キャンプ場>

駐車場拡幅工事が実施されたことにより、日帰り利用車で満車となり駐車出来ない問題がありましたが、宿泊利用者専用の駐車場案内表示を新たに設けたことにより、宿泊利用者のサービス向上に繋がりました。

<スキー場>

○開設50周年を迎えた今シーズンは、地域住民や地元関係者と一体となって新規イベントの開催、従来のイベントの拡幅に努めて参りました。中でも、50周年記念事業「第1回飯綱高原雪だるまフェスティバル」を企画し、スキー場ゲレンデ、消防飯綱分署、大座法師池周辺で大型の雪だるまを設置して、飯綱高原を訪れる利用者をもてなし、地域住民と関係者が一体となって取組みした初めてのイベントとなりました。

○スキー場では戸隠スキー場が新たにICカードによるリフト券の販売を開始したことにより、同一のカードで両方のスキー場が利用できることになったため、カード保有者に対し利便性を周知いたしました。

特にシーズン券利用者には好評を得ました。

② 業務の効率化に対する取組み

<スキー場>

暖冬による雪不足となり営業期間短縮を与儀なくされたため、今シーズンは徹底した経費削減に努めて参りました。消耗品を始め unnecessary 物品購入を控え、暖房の抑制による燃料費の削減等を実施し、ランニングコスト削減に取り組んで参りました。また、臨時職員の協力を得て、自宅待機更には、雇用期間短縮を実施し経費節減に努めて参りました。

③ その他

<キャンプ場>

初めての方でも手軽にキャンプ体験が出来るよう、レンタルテント、BBQコンロ等の貸し出しに取り組んでおり、利用者は4年連続で伸びている。(H24年度と比較して約183%) また、長野市民を対象にした割引も定着しており、ファミリーを中心にリピーターが増えています。

<ハイランドホール>

アゼイリア飯綱と連携して、ステージを利用促進のため、吹奏楽の合宿誘致などに取り組んでいます。

<スキー場>

暖冬による雪不足となり営業期間短縮を与儀なくされ、計画されていたスキー大会、各種イベント等の開催中止となるなど非常に苦しい営業状況となりました。

また、まとまった降雪があったのは2日間のみで、最大積雪量は75cmと、近年の積雪量と比較しても半分ほどであったため、コースの一部が度々露出する事態であり、やむなく標高が高い他スキー場へ移動する利用者も多く見受けられたシーズンとなりました。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

<小天狗の森>

フィールドアスレチック遊具の一部老朽化により、使用禁止処置を講じていること。

<スキー場>

小雪でも一部滑走営業できるよう、スノーマシンのリニューアルが必要であること。

(3) 次年度以降の取組み

<地域と協働>

飯綱高原観光協会が新たに青年部会が発足する運びとなったため、飯綱高原スキー場とアゼイリア飯綱から職員を派遣して、通年で飯綱高原の事業を再検証し、企画からイベント実施まで地域住民と一体となって取り組んで参ります。

また、芋井地区きらめき隊や、NPO法人よっこらしよと協働で、通年で新規イベント企画開発にも取り組んで参ります。

【指定管理者自己評価基準】

A: 計画や目標を上回る、B: 計画や目標をやや上回る、C: 計画や目標どおり、D: 計画や目標をやや下回る、E: 計画や目標を下回る